

# カスタマリリースノート - リリース 06.00

## 製品:

PostScript プリンタ記述ファイル (PPD)

## 新商品:

PPD が一本化され、Macintosh および Windows の両方のプラットフォームに対応するようになりました。

## 本リリースにおける既知の問題、制限事項、およびその対処方法:

### Windows および Macintosh プラットフォーム

[デバイスオプション] 画面の [オプション装備] には、[ドライバリソースバージョン] と [用紙カタログバージョン] があります。ユーザーには [設定の変更] オプションと空白のフィールドも表示されますが、変更を行わないよう強くお勧めします。空白のフィールドをオプションとして選択すると、ジョブストリームの転送時に重要な印刷設定が失われ、ファイルが印刷されなくなります。

### Windows プラットフォーム

[詳細オプション] 画面の [用紙/出力] の下にある [用紙サイズ] ボックスを使用してカスタムページサイズを指定すると、Microsoft Word でその設定が無視されるという問題が発生します。カスタムページサイズが正常に機能するために、ベンダは [新しい用紙を作成する] オプションを使用することを勧めています。作成した用紙を Windows に追加して、Word でその用紙名を選択し、カスタムページサイズではなく、新たに追加した用紙を使用するようにしてください。この機能の使用方法の詳細については、Microsoft のホームページにあるナレッジベースを参照してください。

Windows 用 PPD の印刷ダイアログにある [部単位で印刷] オプションはアプリケーションによって制御されているため、思ったとおりの印刷結果が得られない場合があります。[部単位で印刷] オプションが正常に機能するには、[詳細オプション] 画面にある [プリンタの機能] の [部単位で印刷] オプションを使用してください。

このオプションは PPD によって制御されるため、正確な出力が得られます。

Microsoft Word を実行しているときに、ジョブに含まれる個々のページの用紙サイズを変更すると、思ったとおりのフィニッシングが得られない場合があります。ステイプリング、オフセット積みなどのオプションをページごとに無効にすることができないため、ジョブがプリンタに送信される際には、これらのオプションもそのまま送信されます。

Windows 2000 で Framemaker 7.0 を実行している場合、印刷ダイアログで入力された部数が [詳細オプション] 画面で入力された部数に優先するため、思ったとおりの出力が得られません。

#### **Macintosh プラットフォーム**

Acrobat 6.0 で [パンフレット] オプションを使用するジョブを選択すると、アプリケーションによって追加のページコマンドが送信されます。この余分なコマンドによって、プリンタでジョブのミスマッチが発生する場合があります。

OS 10.3 がインストールされているシステムにおいて、[詳細オプション] 画面でページ設定を選択すると、選択された機能が所定の場所に表示されるまでに時間がかかる場合があります。OS 10.3 の後のバージョンでは、パフォーマンスが改善される予定になっています。

#### **解決された旧リリースの問題点:**

Microsoft Windows NT でアプリケーションを実行しているときでも、中綴じ機のエッジトリミング機能が正常に機能するようになりました。

次の場合に適用される、以前は機能していなかった制約条件が有効になりました。

- パンフレット、両面長辺綴じ、または両面短辺綴じ印刷モードを要求する片面の本文用紙。
- [サイド 2 に印刷] または [両面に印刷] を要求する片面カバー用紙。  
[ブランク] および [サイド 1 に印刷] - 両面のジョブで片面のカバーを使用することはできます。